

新ならやま投句箱

俳句

蠟梅の俯いて咲く塚の上

古川 祐司

絵手紙や立春の文字踊りたり

鈴木 末一

野良の春背中に広がる温ぬくさかな

八木 順一

防人の哀歌満つ野辺梅一輪

八木 健彦

薪割りを終えて冬晴れトン汁や

坂東 久平

カルガモの春へ飛び立つ今朝の池

羽尻 嵩

大とんど崩れて歓声青い空

中井 弘

竹雛作り色彩思案の図画工作

阿部 和生

雪の道ためらいながら老いの脚

山本 美智子

梅が香や上衣をぬいで畑仕事

藤原 勲

剪定の梅チップパーに香り立つ

豊田 浩代

川柳

振り向けばぶさかわの猫目を逸らし たけちゃん



新ならやま投句箱への投句ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

短歌

武器供与それは戦争加担です はるよ

未練まで断捨離できる生き上手 ひら

新コロナなってみたら軽い風邪 のぶ

なんだっけさがしていたのなんだっけ ペコちゃん

こらコロナ5類になつて去る頃な トラ吉

窓越しは開けぬる冬の陽射しかな庭に花咲く

可憐な梅よ 谷川 雅邦

東風時雨冬芽膨らむ柚子の里育てし主の

やさしさ薫る 千載 輝重

ピンクに黄花咲き芽吹く観察路笑顔を思い

階段直す 高間 祥子

病院の窓から見える葛城山歩けるようにと

私を励ます 戸田 博子

次号締め切り 4月中旬 投稿先 田中喜英 and51178@nifty.com